

「東日本大震災」
子どもたちからの声

わたしの青少年赤十字

詩・100文字提案
作品集



はじめに

青少年赤十字の大きな特色は、学校教育の中に組織され、先生方の適切な指導のもと実践されていることです。

日本赤十字社福島県支部は、各学校が青少年赤十字を通して人間尊重の精神を学び、充実した学校教育を推進していくための方法として、より積極的に青少年赤十字活動を推進してほしいと願っています。

このような考えをふまえ、福島県支部では、本年度も県内加盟店を対象に、児童生徒の作品を募集いたしました。本年度も海外の赤十字社から寄せられた救援金で行われております「東日本大震災復興支援推進事業」の一つとして実施し、最優秀作品に選ばれた作品の中から「日本赤十字社社長賞」「日本赤十字社福島県支部長賞」「青少年赤十字福島県指導者協議会長賞」「福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞」が選ばれ、さらに「学校賞」「学校奨励賞」が設定され、選考されたところです。

このたび、これらの各賞受賞作品をはじめ、優れた作品をまとめ、刊行する運びとなりました。子どもたちが未来に大きな夢を持ち、それに向けてがんばる生き生きとした姿をお読みいただければ幸いです。

募集作品

□詩（いのちの詩、愛の詩）

人間のいのちはかけがえのないもの。

そのいのちを守るために、自分や周りの人、生きものを大切にしなくてはなりません。そんなみなさんの素直な願いや感動を、そして未来に向けての夢・希望をぜひ詩（または100文字提案）に託して表現してほしいと願い、作品を募集しました。

□わたしの一〇〇文字提案

「気づき、考え、実行したこと、しようとしたこと」を次のテーマから選んで、自分の考えを端的に表現した作品を募集しました。

「わたしのできるボランティア」

「福島・日本・世界のためにわたしがしたいこと、できる」と
「わたしが感動したことばやできごと」

はじめに・募集作品

「100文字提案 『わたしのできるボランティア』」

学校賞・学校奨励賞……………84

作品応募校……………85

審査にご協力いただいた皆様 …89
作品審査を終えて……………86

目 次

特別賞

日本赤十字社社長賞……………7
日本赤十字社福島県支部長賞……8

青少年赤十字福島県指導者
協議会長賞……………12

福島県青少年赤十字賛助奉仕団
委員長賞……………13

詩 「いのちの詩・愛の詩」
最優秀……………29
優秀……………28
佳作……………21
入選……………19

「100文字提案 『福島・日本・世界のためにわたしが したいこと、できること』」

最優秀……………49
優秀……………63
佳作……………61
入選……………53

「100文字提案 『わたしのが感動したことばや できごと』」

最優秀……………82
優秀……………80
佳作……………72
入選……………69

特別賞受賞作品



日本赤十字社 社長賞

「このちの詩・愛の詩」

双葉町立双葉北小学校

五年 渡部 未空

日本赤十字社 福島県支部長賞

「このちの詩・愛の詩」

福島市立福島第一中学校

一年 吉原みさき

青少年赤十字福島県指導者 協議会長賞

「わたしのできるボランティア」

いわき市立草野小学校

一年 上遠野 旦

「わたしのできるボランティア」

郡山市立富田東小学校

三年 石川 一平

福島県青少年赤十字賛助 奉仕団委員長賞

「このちの詩・愛の詩」

伊達市立堰本小学校

一年 小賀坂有珠

「福島・日本・世界のためにわたしが
したいこと、できること」

鏡石町立第一小学校

一年 大野 伸貴

「わたしが感動したことばやじめじ」と

学校法人桜の聖母学院小学校

五年 川村 瑛音



「いのちの詩・愛の詩」

双葉町立双葉北小学校 五年 渡部 未空

地震 津波 原発事故

とてつもなく

つらくて苦しくて

でも 今の私は

あの時と同じ

笑顔も気分もやる気も

ある ある ある

いつか帰ろう

大好きなることに
みんないつしょに

日本赤十字社福島県支部長賞

「いのちの詩・愛の詩」

福島市立福島第一中学校 二年 吉原みさき

「私には居場所がないから…」

そう言う友達がいる。

でも、本当にそういうか。

クラスにも、部活にも、待っている人がいるはず。

だから、今日も私は声をかける。

「一緒にいこう。」

「わたしのできるボランティア」

郡山市立富田東小学校 三年 石川 一平

ぼくは、家でベルマークと。ブルトップとペットボトルのキャップをあつめています。

小学生になるまでは、ぜんぶ捨てていました。

ワクチンや車いすや学ようひんになることを知つて、毎日一こづつあつめています。

「福島・日本・世界のために
わたしがしたいこと、できること」

鏡石町立第一小学校 二年 大野 伸貴

ホタルをつけたよ。

ホタルは水のきれいなどころにしかすめないんだって。
おじいちゃんが教えてくれた。

きれいな水が分かるホタルはすごいな。

ぼくはホタルがすめる田んぼやいけ、川をふやしたいと思つ
たよ。

「わたしが感動したことばやできごと」

学校法人桜の聖母学院小学校 五年 川村 瑛音

あの人は、いつもテストで百点だ。

でもいいの。私は私。

あの子は、ドッジボールが上手。

でもいいの。私は私。

この言葉に、何度もされたことか。

でもいいの。私は私。

明日もがんばろう。

青少年赤十字福島県指導者協議会長賞

「わたしのできるボランティア」

いわき市立草野小学校 二年 上遠野 旦

ぼくは、たまにろう人ホームにしようとをさしに行きます。八十才のおじいちゃんと七才のぼくが、しんけんにたたかうのがおもしろいです。

おじいちゃんが、たのしいと言つてくれるからまた行きたいです。

福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞

「いのちの詩・愛の詩」

伊達市立堰本小学校 一年 小賀坂有珠

おじいちゃんの
たんぽやはたけで
つくつているもの

おこめ

あんぽがき
ミニトマト
さつまいも
ねぎ
きゅうり

みんなのえがお



詩
「いのちの詩・愛の詩」

「いのちの詩・愛の詩」

最優秀賞・優秀賞 受賞者

最優秀賞

郡山市立桃見台小学校

二年 須田 泰地

喜多方市立第一小学校

五年 佐野 七海

学校法人桜の聖母学院小学校

六年 高橋 未悠

喜多方市立第一小学校

五年 渡邊 花菜

福島県立福島高等学校

一年 山口愛由美

白河市立みさか小学校

五年 金澤 賴志

福島市立松陵中学校

三年 伊藤 涉

優秀賞

福島市立福島第一小学校

二年 渡邊 花菜

いわき市立内郷第一中学校

三年 岩崎 幸乃

いわき市立草野小学校

二年 小野 義斗

大熊町立熊町小学校

五年 樋口光太郎

福島市立福島高等学校

一年 山口愛由美

郡山市立桃見台小学校

二年 須藤 品斗

双葉町立双葉北小学校

六年 大高 混士

福島市立福島高等学校

一年 山口愛由美

郡山市立富田東小学校

三年 小林瑚乃羽

大熊町立熊町小学校

四年 斎藤 菲

福島市立福島高等学校

一年 山口愛由美

櫛葉町立櫛葉南小学校

四年 佐藤 萌衣

双葉町立双葉北小学校

五年 政井 優花

福島市立福島高等学校

一年 山口愛由美

櫛石町立第一小学校

二年 鈴木 律花

大熊町立熊町小学校

六年 政井 優花

福島市立福島高等学校

一年 山口愛由美

いわき市立草野小学校

二年 高野 葵奈

双葉町立双葉北小学校

七年 鈴木 律花

福島市立福島高等学校

一年 小川ひなた

郡山市立桃見台小学校

二年 金賀 紗

大熊町立熊町小学校

八年 小笠原綾音

福島市立福島高等学校

一年 小川ひなた

郡山市立桃見台小学校

三年 小林 成道

双葉町立双葉北小学校

九年 新妻 杏紗

福島市立福島高等学校

一年 金賀 紗

郡山市立桃見台小学校

四年 小林 成道

双葉町立双葉北小学校

十年 新妻 杏紗

福島市立福島高等学校

一年 金賀 紗

福島市立福島第一中学校
二年 囲崎 そら

福島市立松陵中学校
三年 高橋 桐真

いわき市立草野小学校
二年 小野 義斗

郡山市立富田東小学校
三年 小林瑚乃羽

櫛葉町立櫛葉南小学校
四年 佐藤 萌衣

櫛石町立第一小学校
二年 鈴木 律花

櫛石町立第一小学校
二年 高野 葵奈

櫛石町立第一小学校
二年 小笠原綾音

櫛石町立第二小学校
五年 鎌田 大輝

『いのちの詩・愛の詩』 最優秀賞

郡山市立桃見台小学校 二年 須田 泰地

喜多方市立第一小学校 五年

佐野 七海

ばあちゃんちの海のそば
つなみにまげずのこつた
かしまのきせきの一本まつ
力づよくねをはり

空にむかってまっすぐ
立っている
すごいな

あなたはどうして
そんなにつよいの
一人で育ち

最後にたくさん
わたげをとばして
かれてゆく

私はたくさんの人へ愛を残す

強い人になりたい

たんぽぽのように

つらいことがあっても
一生けんめい生きよう
ぼくも

あの一本まつのように

いわき市立草野小学校 二年 小野 義斗

ぼくのいのちは、色いろなたべものでつく
られている。

おばあちゃんは、ほうしやせんがしんぱい
でやさいをつくらなくなつた。

でも、ことしは、おばあちゃんのはたけは
にぎやかです。

とれたやさいをたべて大きくなるぞ。



『いのちの詩・愛の詩』 優秀賞

福島市立福島第一小学校 二年 渡邊 花菜

学校法人桜の聖母学院小学校 六年 高橋 未悠

びくん
びくん
びくん

今日もいっぱいいる。
しゃつくりしてるんだって。

びくん、びくん
こんどは、くしゃみかな？

おーい、きこえますか？

わたしが、おねちゃんだよ。
はやく外に出ておいで。
みんなまってるよ。

めげなかつたこと。
笑顔でいたこと。
募金をしたこと。

悲しみを表に
出さなかつたこと。
福島に
もどつてきたこと。
願つたこと。

全て私の
してきたこと。

郡山市立桃見台小学校 六年 須藤 輝斗

僕は、「口しん口がいれつ」という病気で生まれました。今年、
五回目の手術をします。大好きなバスケができなくなります。
でも、生まれてこなければ、バスケができなかつた。お母さん、
僕を産んでくれてありがとうね。

郡山市立富田東小学校 三年 小林瑚乃羽

郡山市立富田東小学校 四年 佐藤 萌衣

わらうと
いのちが光つてる。
友だちとあそんで
楽しいのはいのちが
光つて いるからかな?
いつしょにわらつて
いるのかもね
一人一つしかないから
わたしはえがおで
いのちの光を
まもるんだ!

わたしは生きている
花も生きている
地球も生きている
草も生きている
命があるから
生きられる
生きているのは
同じだ
何かがちがつても
生きているのは同じ

鏡石町立第一小学校 二年 高野 葉奈
おとうとのそらくんがブランコからおちて水たまりにボチャ
ン。
「あぶない。」と、言つたけどまに合わなくて、こんどはブラ
ンコにゴツン。
おねえちゃんだからいつもまもつてあげたいんだけどなあ。

鏡石町立第一小学校 五年 小笠原綾音

白河市立みさか小学校 五年 金澤 賴志

「大丈夫」その一言で元気が出る。心にポツと灯がともる。

たった一言の言葉でも元気がわき上がってくる。とても優しく包まれている気分になれる。

今度は私が言いたいな。

台風だ。

心の窓をつきやぶり、風がウーウーふきられる。

心の窓をつきやぶり、雨がザンザン打ちつける。

波立つ田んぼにしがみつき、それでもカエルは鳴いている。

それでもカエルは生きている。

鏡石町立第一小学校 五年 鎌田 大輝

喜多方市立第一小学校 五年 樋口 光太朗

二重とびを五回できるようになりたいな

バトミントンのアンダーが上手になりたいな

水泳の三百メートルを

速く泳げるようになりたいな

ぼくがんばるからお母さんみててね

人を思うつて愛だね
どんなに苦しても
みんなが思つてくれる

それだけでうれしい

自然を思うつて愛だね

生き物を思うと

生き物もがんばれる

世界を思うつて愛だね

世界を思うと

みんなの思いがつながるね

双葉町立双葉北小学校 六年 大高 滉士

楢葉町立楢葉南小学校 六年 政井 優花

学校が好きだ

今は 楽しいから

あのころ ぼくの心は
鉄のようにかたかつた
でも今は 雲のように
軽くてやわらかい

はねかえす力がある

みんなに伝えたい
今 ぼくは生きている

東日本大震災

ネパール大震災

同じ状況、同じ苦しみ
分かれ合えるからこそ
『助けたい』

私の一枚の古切手

それで命が助かるなら
一人でも多く救いたい
被害にあって
亡くなつた人の分まで

大熊町立熊町小学校 四年 齋藤 菖

いわき市立草野小学校 二年 鈴木 律花

ひがし日本大しんさい。

こわい思いもかなしい思いもいっぱいしたけど、いろんな人
と出会い、出会った人の数だけたくさん(やさしさ)をもらい
ました。

もし、同じ思いをしている人がいたら、今どは、わたしが力
になりたいです。

震災の夏に生まれた弟
小さく生まれた弟
障がいのある弟
いつも笑顔の弟
怒られている時も笑顔
こちらもつい笑顔
皆を笑顔にしてくれる
いつまでも笑顔でいるように
ずっとみんなで見守つてあげる

いわき市立草野小学校 二年 小川ひなた

おたんじょう日ありがとう。

ママにはじめてもらつたプレゼントは、「いのち」と言う手でつかめないものだつた。

そして、わたしのいのちはママのたからものになつた。

ぼくのいのちは

お父ちゃんとお母ちゃんのたからものいつもいつも言われてる

いつの間にかぼくのたからものになつただから大事にしなくちゃならないんだずうつとずうつとね

いわき市立草野小学校 二年 金賀 紗

春、田んぼに赤ちゃんなえとお玉じゃくし。
夏、なえが風とあそんでみどりの海から青空を見て いるカエル。

東日本大震災で

あき、じいじがつくつたおこめおいしいよ。
ふゆ、はたけのやさいでつくるなべがすき。
そんなしぜんがすき。

いわき市立草野小学校 五年 新妻 杏紗

東日本大震災で、ていぼうに穴があき、魚がどれなくなつてしまつた。みんなの心にも穴があいた。

でも、今は魚がとれる。ていぼうの穴も、ふさがつてきた。
きっとみんなの心のきずは治りかけている。

いわき市立草野小学校 三年 小林 成道

福島市立福島第一中学校 二年 岡崎 そら

ひとはなぜ生きるのだろう。

人はなぜ死を恐れるのだろう。死が来るのも生が終わるもの
逃れる事の出来ないものなのに。短いからあがくのだろうか。
長いから罪を犯すのだろうか。

そんな疑問を抱きながら今日も私は生きてゆく。

なぜ生まれて

なぜ生きるのか

わからないから生きるんだ
生きてるうちにわかるんだ

努力よ明日へ輝け

涙よ土に芽を出せ

そしてどこまでも…

福島市立松陵中学校 三年 伊藤 渉

私は、多くの人と共に生きてきた。

困ったことがあれば、皆で助け合った。

数えきれない多くの人に、支えられてきた。

数えきれない多くの命の上に、今立っている。

全ての命に感謝し、私も、次の命の、礎となりたい。

なんのために生まれたか
なんのために生きるのか
わからないから生きるのさ
生きてるうちにわかるのさ

福島市立松陵中学校 三年 高橋 桐真

つながろう
手をとりあつて
つながろう
心あわせて
つながろう
多くの人々と
多くの自然と
大切な生命を守るため
大切な私達の故郷を守るため

福島県立福島高等学校 一年 山口愛由美

十七歳、
今私がここにいるのはどれほどの奇跡だろうか。
そこには測り知れない幸せがある。
長い長いいのちのバトンが私の手の中に。
ぎゅっと強く握り、未来のいのちに渡すのだ。
落とさずに渡すのだ。
届け、どこまでも。



「いのちの詩・愛の詩」佳作

いわき市立好間第一小学校

六年 菅野 瑞偉

福島市立福島第一中学校

一年 高田 葉月
一年 豊田 ゆい

須賀川市立新地小学校

三年 佐々木明日香
三年 丹治 悠

学校法人桜の聖母学院小学校

五年 山村 蓮
五年 佐藤 祐歌

須賀川市立大森小学校

五年 井上 舞子

新地町立新地小学校

三年 佐々木明日香
四年 荒 翔大

福島市立新地小学校

三年 関根妃奈乃

須賀川市立第一中学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

須賀川市立第二中学校

三年 佐倉唯喜奈
一年 阿部恵里沙

白河市立大信中学校

三年 草野 彩

郡山市立日和田小学校

一年 宮下 莉瑠

鏡石町立第一小学校

二年 太田 健熙

矢祭町立下関河内小学校

相馬市立磯部小学校

四年 小瀧 吏南
六年 菅野 成哉

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藦谷 亞実

郡山市立桃見台小学校

五年 田尻 真也

猪苗代町立千里小学校

五年 笠間 花

いわき市立草野小学校

一年 佐倉唯喜奈
一年 阿部恵里沙

白河市立大信中学校

三年 草野 彩

郡山市立富田東小学校

一年 小林 晟陽

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 善文
五年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藦谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 岡部 晶

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藦谷 亞実
三年 藦谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 橋本 蒼弥

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藦谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藦谷 亞実
三年 藦谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藦谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藦谷 亞実
三年 藦谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藦谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藦谷 亞実
三年 藦谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藦谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藕谷 亞実
三年 藕谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藕谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藕谷 亞実
三年 藕谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藕谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藕谷 亞実
三年 藕谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藕谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藕谷 亞実
三年 藕谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藕谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藕谷 亞実
三年 藕谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藕谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藕谷 亞実
三年 藕谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藕谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藕谷 亞実
三年 藕谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藕谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藕谷 亞実
三年 藕谷 涼羽

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

喜多方市立第一小学校

三年 渡邊 愛結

矢祭町立下関河内小学校

六年 佐々木さくら
六年 佐藤優瞳稀

浅川町立浅川中学校

一年 福田 優茉
三年 藕谷 亞実

須賀川市立阿武隈小学校

五年 小川 巧真

新地町立福田小学校

一年 目黒なな子
六年 佐伯 彩花

いわき市立草野小学校

五年 佐藤 可菜
五年 金賀 誠治

白河市立大信中学校

三年 藕谷 亞実
三年 藕谷 涼羽

「いのちの詩・愛の詩」入選

「いのちの詩・愛の詩」入選

福島市立福島第一小学校	五年 石井 もえ	須賀川市立稻田小学校	四年 山田 未来	白河市立みさか小学校	四年 我妻 花音
一年 赤間 玄	六年 木田 悠斗	二年 渡部 那夢	五年 佐藤 奏太	喜多方市立第一小学校	五年 山田 未来
六年 亀倉 謙哉	五年 橋本 裕樹	四年 多田 心陽	五年 佐藤 ななみ	矢祭町立石井小学校	五年 菊池 朱夏
福島市立庭坂小学校	五年 田中 玲菜	五年 菊池祥一郎	六年 原 瑞姫	須賀川市立小塩江小学校	五年 菊池 朱夏
四年 武藤 梶河	六年 前田菜々花	一年 枝並 克幸	六年 佐藤 ななみ	須賀川市立大森小学校	四年 岩崎 汐音
五年 武藤 稜河	三年 遠藤 美妃	一年 関根 太助	五年 佐藤 ななみ	鏡石町立第一小学校	五年 佐藤 豪隼
二本松市立原瀬小学校	三年 清野 凜	二年 朝倉 大翔	四年 佐藤 豪隼	新地町立新地小学校	四年 佐藤 豪隼
六年 味原 光	四年 佐久間優藍	五年 朝倉 大翔	五年 森 凉輔	相馬市立飯豊小学校	四年 森 海風
郡山市立日和田小学校	三年 遠藤 美妃	六年 紺野 芽依	五年 阿部 凌真	天栄村立広戸小学校	四年 横山 陽世
一年 鈴木 泰斗	四年 清野 凜	六年 佐藤 美羽	六年 佐藤 美羽	六年 立石 乙葉	六年 生田目一世
郡山市立片平小学校	一年 舟橋 基輝	五年 森 凉輔	五年 佐藤 美羽	浅川町立山白石小学校	五年 岩崎 汐音
五年 菅野 力	三年 半澤 梨乃	四年 佐藤 美羽	六年 笠原 裕喜	五年 岩崎 汐音	四年 武澤 奈南
須賀川市立稻田小学校	五年 佐藤 ななみ	新地町立新地小学校	四年 佐藤 豪隼	相馬市立磯部小学校	四年 武澤 奈南
郡山市立桃見台小学校	六年 原 瑞姫	相馬市立飯豊小学校	五年 森 海風	四年 横山 陽世	四年 武澤 奈南
五年 石井 もえ	六年 佐藤 ななみ	四年 横山 陽世	五年 佐藤 ななみ	四年 横山 陽世	四年 武澤 奈南
六年 木田 悠斗	五年 佐藤 ななみ	六年 横山 陽世	六年 佐藤 ななみ	五年 佐藤 ななみ	五年 佐藤 ななみ
五年 佐藤 奏太	四年 佐藤 ななみ	四年 横山 陽世	五年 佐藤 ななみ	四年 横山 陽世	四年 武澤 奈南
五年 山田 未来	四年 佐藤 ななみ	四年 横山 陽世	四年 佐藤 ななみ	四年 横山 陽世	四年 武澤 奈南
五年 菊池 朱夏	四年 佐藤 ななみ	四年 横山 陽世	四年 佐藤 ななみ	四年 横山 陽世	四年 武澤 奈南

いわき市立草野小学校

一年	大谷	優響
三年	柳田	悠
五年	猪狩	快
五年	熊谷	
五年	猪狩	
五年	佐藤	
五年	聖奈	

天栄村立天栄中学校

二年 大木早友里

学校法人山崎学園福島県磐城第一高等学校
二年 鈴木芙美香

いわき市立内町小学校

六年 加藤くるみ

福島市立福島第一中学校

一年	野崎	靖葉
一年	村上華奈子	
一年	加藤	優奈
二年	本田	
二年	新菜	
三年	斎藤	
三年	渡辺	
三年	優花	
三年	透	
三年	白戸	
三年	菅野	
三年	陽太	
三年	葵	
三年	凛也	
三年	佐藤	
三年	愛華	
三年	布施	

須賀川市立第二中学校

三年 鈴木侑季乃





一〇〇文字提案

「わたしのできるボランティア」

「わたしのできるボランティア」

須賀川市立稻田小学校

六年
大槻
飛翔

鏡石町立第一小学校

立第一小学校

伊達市立堰本小学校

福島市立福島第一小学校

二本松市立原瀬小学校

卷之三

福島「立林院」生根

いわき市立藤間中学校

優秀賞

福島市立福島第一小学校

六年
菅野
晴史

福島市立庭坂小学校

五年
今野
叶望

— 33 —

「わたしのできるボランティア」最優秀賞

福島市立福島第一小学校 六年 佐久間理宇

二本松市立原瀬小学校 五年 大内 蘭帆

ぼくたちの学校では、朝ボランティア活動があつて、ぼくたちの班の初めての活動はあいさつ運動だつた。最初はみんな通りすぎる。

でも一人だけ笑顔でかえしてくれた。

もつと元気に大きな声であいさつがしたくなつた。

私にできるボランティアは一つ。それは学校でやつている朝のチヨボラ。毎日、ずっと休まない。

学校がきれいになり、みんなが気持ちよく生活できれば、私はそれでいい。

そんなボランティアをしたい。

福島市立松陵中学校 一年 佐々木優奈

いわき市立藤間中学校 一年 長瀬 和真

東日本大震災で、近くの体育館に避難して
いた人がたくさんいました。私の祖母はボラ
ンティアに行き、私もときどき連れて行つて
もらいました。

歌つたり、料理したり、ただそれだけなの
に笑ってくれる人がたくさんいました。

ごみおき場でごみが散乱していた。ぼくは
迷ったが気になり、片付けた。きれいになつ
た時の気分は良く、考えて行動できた事が嬉
しかつた。

募金やエコキヤップの回収など、自分がで
きる事に参加したい。

「わたしのできるボランティア」優秀賞

福島市立福島第一小学校 六年 菅野 晴史

伊達市立堰本小学校 五年 酒井美依菜

ぼくが住む地区は、月一回、資源回収がある。最初はつまらなく意味が無いと思ったが、

「ありがとう。」

この言葉でうれしくなり、この活動を続けてみたくなり、樂しくなった。

これからもこの活動を続けていきたい。

私は、ペットボトルキヤップやアルミカンを学校で集めている。海外の子供達のワクチンになつたり、リサイクルに出し、学校の備品を買つたりしている。

ただのゴミにしないで集めるのが、私のできるボランティア。

福島市立庭坂小学校 五年 今野 叶望

二本松市立原瀬小学校 六年 石山 敬大

ぼくは、足のケガをしてみて初めて分かりました。かた足が不自由だと上手く歩く事が出来ないし、階段だんも大へんでした。近くに、同じ様な人がいたら手をかしてあげられる人になりたいです。もっとがんばりたいです。

ぼくは毎朝、チヨボラという清掃ボランティアをやっています。ぼくはいつも、だれよりも早く行き、ぞうきんで一生けん命、ろう下をふきます。みんながもっとがんばれば、もっときれいな学校になると思います。

郡山市立日和田小学校 四年 明石 ゆりな

六月のはじめの日、町のごみひろいに出かけた。ごみは小さいけどいっぱいおちていた。

家族みんなで、ごみをひろっている時、わたしは、「これからもごみを道路に捨てないでひろう人になりたい。」と思った。

東日本大震災で福島県にひ難してきた私の大きいおばあちゃんは、いつも窓の外を見ています。おじちゃんは亡くなってしまってさびしそうな顔をします。

私は、おばあちゃんが少しでも元気になるため、毎日でも顔を見せたいです。

郡山市立日和田小学校 六年 橋本 英彦

ぼくは、ボーリスカウトに入っています。

ボーリスカウトでは、町のごみ拾いや、老人ホームのそじ、東日本大震災の募金活動などをやりました。

これからも福島や日本のために多くのボランティアをがんばりたいです。

郡山市立桃見台小学校 六年 横山 智宏

ぼくの毎日の習慣は、ボランティア清掃。

友達と毎日学校をきれいにしている。ボランティア清掃をすると、気持ちがいい。だって、自分の手で学校をきれいにするんだから。

こんな身近にできるボランティアずっと続けたい。

「わたしのできるボランティア」優秀賞

郡山市立桃見台小学校 六年 佐藤 志帆

公園にお花を植えたよ。公園の周りはお花でいっぱい。今は、きれいにさいたよ。

通った人は、えがおにあふれていたよ。人を喜ばせると、気持ちが明るくなつたよ。

これからも、皆さんにえがおになつてもらいたいなあ。

郡山市立富田東小学校 六年 岡 さくら

私は主に、木をうえるボランティアをしたい。理由は、たくさんの自然を増やし、地球温だん化をふせぐため。

この世界、このまま続いたら大変なことになる。それなら、私ができるボランティアをしよう。

郡山市立富田東小学校 五年 鈴木ひかり

学校のしそう校口で、毎週月曜日にやつてあるあいさつ運動。

あいさつするたびに、みんなが、

「おはよう。」と返してくれる。

そんな小さな出来事に、私は幸せを感じる。

郡山市立富田東小学校 六年 渡辺 唯

私は
人を笑わせる事が
出来る

そんな小さな事でも
私に出来るボランティア

須賀川市立稻田小学校 六年 大槻 飛翔

鏡石町立第一小学校 六年 岩井 友里

サッカー日本代表が出た試合の後に、日本人サポーターが会場のゴミ拾いをしてニュースになった。

そのニュースを見て、日本人がほこらしく感じたし、自分でも試合を見に行つたら、試合後にゴミを拾いたいと思った。

私が、磐梯山に登ったとき、ごみが一つもありませんでした。登山会のみなさんのおかげだそうです。

福島の宝の山、磐梯山を守るために、私も清掃活動に参加して、日本一きれいな山にしていけたらいいと思います。

鏡石町立第一小学校 二年 幸田 璃子

福島市立松陵中学校 一年 渡邊こじる

今日、おとうさんはいひん回しゅうで十けんのうちにいきました。

思っていたより、ごみが多くつたので、もつていくのがすごくたいへんでした。

あいさつで心を暖かくし、元気を発信する。それが私のできるボランティア。復興への第一歩となるのは身近なことからでも始められると私は思う。

だから、私はあいさつをすることで心を暖かくし、元気を発信していきたい。

「わたしのできるボランティア」優秀賞

白河市立白河第一中学校 三年 添田 優希

いわき市立内郷第一中学校 三年 多田 美菜

私の学校では、プルタブ集めや、清掃ボランティアをしてい
ます。

世界規模で考えると、ちっぽけな事かも知れませんが、私は
この活動を誇りに思っています。一人でも多くの人に参加して
もらえるよう、がんばります。

私は他県から除染作業に来てくださっている人にもたくさん
鶴を作り、一羽一羽感謝の言葉を書いて渡すというプロジェクト
に参加しました。

私達の為に全力で働いてくださっている方々に少しでも届い
てほしいです。

双葉町立双葉中学校 二年 紺野 希美

私のできるボランティアは、お年寄りを元気づけることです。
避難している時、ボランティアの方と色々お話をし、とても
元気が出ました。なので私も、お話や交流を通して元気づけら
れると思うのです。

「わたしのできるボランティア』佳作

いわき市立好間第一小学校

六年 白鳥美央莉

福島市立福島第一中学校

二年 小峯 百恵

三年 田地野美桜

三年 長沢 伊吹

福島市立福島第一小学校
四年 佐藤 拓音
五年 佐藤 倖生

郡山市立桃見台小学校
二年 三上 瑞久

鏡石町立第一小学校
五年 小林 咲結
六年 後藤 凌生

福島市立松陵中学校
一年 河野 美月
一年 佐藤 雪乃
一年 尾形 汐理

福島市立庭坂小学校

二年 宗像 幸歩
二年 門馬 尊
五年 佐藤 鳩斗

郡山市立富田東小学校
三年 星 ひらり
四年 猪狩 千陽
四年 稲川 あさ
五年 栗城 叶夢

鏡石町立第二小学校
五年 小林 万朋
六年 藤井 光
四年 山口 暖人

福島市立みさか小学校
一年 荒 瑞依哉
二年 尾形 和馬
二年 杉平 結菜

郡山市立日和田小学校

一年 塩原 好
一年 土屋ふうか
三年 安齋かりん

郡山市立白岩小学校
六年 遠藤 美華
四年 草野 泰雅

白河市立みさか小学校
四年 山口 暖人
六年 草野 泰雅
三年 関根 祐貴

新地町立福田小学校
一年 荒 瑞依哉
二年 尾形 和馬
二年 杉平 結菜

福島県立光南高等学校
二年 鈴木 帆夏

郡山市立片平小学校

六年 橋本 帆海

いわき市立草野小学校

六年 橋本 帆海
二年 尾内 裕人
四年 坂本 美羽

「わたしのできるボランティア」入選

いわき市立内郷第一中学校

三年 坂本 龍斗



福島市立福島第一小学校

二年 鈴木 悠生

六年 山内 楓
六年 田中 凜空

須賀川市立小塙江小学校

六年 塩田 智那

新地町立福田小学校
三年 庄司 歩未

学校法人桜の聖母学院小学校

六年 伊藤 夕美

鏡石町立第二小学校

四年 渡邊 美晴

五年 根本 莉那

福島市立福島第一中学校
二年 三瓶 寧々
三年 村上龍太朗

郡山市立日和田小学校

三年 佐藤 健信

五年 半澤 享典

福島市立松陵中学校
一年 渡辺歩由美

六年 金澤 勝吾

六年 酒井 翔
五年 松浦 愛奈

浅川町立山白石小学校
一年 高野 友

六年 酒井 翔

六年 大甕明日真

大熊町立大野小学校
四年 海老根琴音

白河市立みさか小学校

六年 中田 優起

福島市立松陵中学校
一年 大波 亮介
三年 鈴木 夢叶

白河市立桃見台小学校

四年 内海 鳩太

浅川町立浅川中学校
二年 千葉 巨貴

四年 湯田 媛香

五年 遠藤 日向

喜多方市立第一小学校

五年 小瀬 勇希

六年 中田 優起

白河市立白河第二中学校

郡山市立富田東小学校

四年 宗像 俊輔

五年 佐藤 菜彩

三年 小瀬 勇希

「わたしのできるボランティア」入選



一〇〇文字提案

「福島・日本・世界のために
わたしがしたいこと、できること」

「福島・日本・世界のために
わたしがしたいこと、できること」
最優秀賞・優秀賞 受賞者

最優秀賞

学校法人桜の聖母学院小学校

六年 斎藤 昂

郡山市立日和田小学校

三年 安齋 斗偉

郡山市立富田東小学校

三年 志田 榊季

いわき市立草野小学校

一年 坂本 琉果

福島市立福島第一中学校

一年 井澤 鳩汰

福島市立松陵中学校

三年 大河原莉杏

須賀川市立第一中学校

三年 善方 詩乃

福島市立福島第一小学校

優秀賞

郡山市立片平小学校
四年 三瓶なご海

郡山市立桃見台小学校
五年 岡田 幸人

郡山市立庭坂小学校
四年 清野 七虹

須賀川市立稻田小学校
五年 味戸 瞬

鏡石町立第二小学校
六年 添田 葉月

古殿町立古殿小学校
三年 岡部 悠生

白河市立みさか小学校
六年 小川由紀子

伊達市立堰本小学校

三年 相原 結愛
六年 原田 佑成

郡山市立日和田小学校
三年 須藤 小晴

六年 渡辺 菜月
六年 迎田 翔太

「福島・日本・世界のためにわたしがしたいこと、できること」受賞者

矢祭町立関岡小学校

六年 本多 悠夢

六年 吉澤 叶翔

いわき市立好間第一小学校

六年 奥村 心音

福島市立福島第一中学校

一年 相田かのん

二年 氏家 紗菜

三年 八島 悠人

福島市立松陵中学校

一年 加藤南々帆

三年 朝倉 凉

三年 熊坂 凤雅

いわき市立藤間中学校

一年 根本 貴太

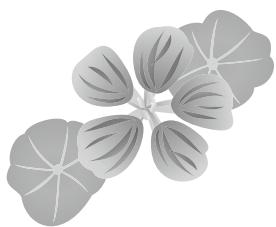
二年 渡邊 翔

学校法人松韻学園福島高等学校

一年 野崎 真矢

福島県立安積高等学校

一年 紺野 未夢



『福島・日本・世界のために
わたしがしたいこと、できること』**最優秀賞**

学校法人桜の聖母学院小学校 六年 齋藤 昂

郡山市立日和田小学校 三年 安齋 斗偉

ぼくは、東日本大震災をうけて、世界の色々な人々に支援をして頂き、ネパール大震災がおこつたらすぐにぼ金をしました。

東日本大震災の時、ぼくは四才でした
が、はつきりと大地震の事をおぼえていま
す。

一日でも早く、ネパールの人々が、普通に
生活にもどれるように、これからもぼ金をし
ていきたいと思います。

そして、その時パパとやくそくした事があ
ります。「この地震をわすれない。命を大
切にする。」です。

それが、ぼくが守る事です。

郡山市立富田東小学校 三年 志田 榮季

いわき市立草野小学校 一年 坂本 琉果

ウォーキング大会にさんかした。川ぞいの道は、け色や空気がきれいで気もちよかつた。

しばらく歩くと、ごみぶくろをもつている人たちに気づいた。歩きながらごみをひろつていたんだ。

次は、わたしの手にもごみぶくろ。

みんなのいのちはたいせつです。なぜなら、しんさいのときまもられたいのちだからです。

だから、わたしはまたしんさいがおきたときは、パパやママにたすけられたように、こんどはわたしがだれかをたすけたいです。

福島市立福島第一中学校 一年 井澤 颯汰

福島市立松陵中学校 三年 大河原莉杏

失った物は多く、得たものは少ない。では、得たものとは何だろう。「思いやり」や「絆」である。

今は私たちができることは、失った物ばかり考えるのではなく得たものをなくさないよう一歩ずつ歩いていくことである。

私が世界のためにできる事は、募金です。

私は震災を経験し、その時に、日本人でない貧しい暮らしをしている家族が一日働き受け取ったお金を募金してくれた事を知り、それ以来、募金箱があると必ず募金をしています。

須賀川市立第一中学校 三年 善方 詩乃

先日、ミャンマーの無医村で巡回医療をする女性の番組を見た。私はその女性を尊敬し、同じ日本人として嬉しく思った。

私が世界のためにできることはとても少ない。だから世界について知ることから始めたいとthought。



「福島・日本・世界のために わたしがしたいこと、できること」優秀賞

福島市立福島第一小学校 一年 吉田 理人

今ぼくがすんでいる日本はたべのものがいっぱいあります。そしてへいわです。でもテレビでは、おなかがすいてしんでいる子がいたり、せんそうしている国があります。

世界中の人がしあわせになれるようにしたいです。

福島市立福島第一小学校 二年 鈴木 雪乃

わたしは、あいさつがとくいです。

あいさつをすると、気もちがいいです。

あいさつは、心のとびらのカギです。

みんなの心のとびらをひらけるよう、たくさんの人とあいさつをしていきたいです。

福島市立福島第一小学校 四年 高橋 佑凪

震災以降、福島県には浜通り等の警備のため、全国から応援に来ている「ウルトラ警察隊」がおり、被災をした福島県を守るために、全国から集まってきたくれている警察官はとても頼もしいと思っている。

私の夢は、警察官です。

福島市立庭坂小学校 四年 清野 七虹

私は、学校でエコキヤップをやっています。二キログラムでワクチン一人分になります。学校のろう下には、エコキヤップの協力のよびかけのポスターがあります。

みんなで、百人分のワクチンめざし、私もがんばりたいです。

福島市立庭坂小学校 四年 小齋 璃奈

学校法人桜の聖母学院小学校 六年 村上 采花

わたしは、世界の中で食料が少なくて、こまつている人達を助けるために、ユニセフという所にば金しています。いろいろなお店には金箱があつたり、ゆうびん局からお金をおくることが出来るので、続けていきます。

震災で多くの命が失われた。
『東日本大震災』

その言葉を聞くたびに、私に何ができるだろう、と考える。これからは、生きていた自分の命で、被災した人々のために、皆のためになることを少しずつしていこう、と思った。

福島市立庭坂小学校 四年 石井 敢大

学校法人桜の聖母学院小学校 六年 シエランガスキー 賢斗

ぼくは、日本に生まれた。小さいころから病気にかかるない注しゃをやつていて。しかし、その注しゃをしていない国の子供たちは、小さいころに亡くなってしまう。だから、エコキヤツプをたくさん集めて助けたいと思う。

東日本大震災の時は、学校に手紙がいっぱい送られてきました。

ネパールで地震があり、ぼくは、逆の立場になり、ネパールに募金をしました。

これからもお金をためて募金します。

「福島・日本・世界のためにわたしがしたいこと、できること」優秀賞

伊達市立堰本小学校 三年 相原 結愛

郡山市立日和田小学校 三年 須藤 小晴

わたしは、東日本大震災に合い、たくさんのかなしみやつらさを知りました。福島はげん発事で、今でもたくさんの人々がくるしんでいます。

私は、かんごしさんになつて、たくさんの人をすくいたいと思ひます。幸せのために。

わたしが出来ることは、ぼきんです。東日本大震災の時、世界のいろいろな人たちがたすけてくれました。わたしは、フィリピンでの大地しんでみんなの家がつぶれたことを知つて、お礼のぼきんをしようと思いました。

伊達市立堰本小学校 六年 原田 佑成

郡山市立日和田小学校 六年 渡辺 菜月

しんさいの日、母のお腹の中には、赤ちゃんがいました。ぼくは不安で心配でした。

でも、一週間後に無事に女の子が産まれました。小さくてかわいい女の子でした。四人きょうだいで力を合わせてたくましく生きていきます。

東日本大震災が起つたとき、日本中から、世界中から、たくさんの方々が応援が届き、協力してくれた。

だから私も、ひ害が大きかつた所や、今後災害が起つた所に、募金などの小さなことから少しずつ恩返しをしていきたい。

郡山市立日和田小学校 六年 **迎田 翔太**

郡山市立桃見台小学校 五年 **岡田 幸人**

ぼくたちは、東日本大震災でたくさん支援してもらいました。

今は、小さなことだけど、募金やベルマークを集めることなど、自分ができることを考え、助けてもらつた感謝の気持ちを忘れずに、人の役に立てたいです。

ぼくが、福島のためにできること。それは、ぼく自身が、この福島で元気に明るく楽しく、たくましく、生活することだと思います。

自分の家に住めているというあたり前の生活に感謝して生活していきたいです。

郡山市立片平小学校 四年 **三瓶なご海**

須賀川市立稻田小学校 五年 **味戸 瞬**

わたしは、畑や田んぼのお世話をしたいです。今も、おじいちゃんやおばあちゃんの手つだいをしています。道具運びや力仕事をです。

これからもずっと手つだつておいしいお米や野菜を作つてみんなに食べてもらいたいです。

ひそかに地球を守つてくれていてる自然をぼくたちが守りたいな。

楽しくて、きもちいい自然。ぼくたちを守つてくれる自然を守りたいな。

そして、樂しい暮らしをいつまでも守つていきたいな。

「福島・日本・世界のためにわたしがしたいこと、できること」優秀賞

鏡石町立第一小学校 六年 添田 葉月

白河市立みさか小学校 六年 小川由紀子

私は、手話を習っています。そこには耳の聞こえない人がいます。

耳が聞こないと不便だと思うので、私は不自由な所がある人と手話などでかい話をして、人と人とをつないでいけたらいいなと思います。

ガールスカウトに入つて一年がたちました。活動の一つに、募金活動があります。きっとだれかのためになると思って、一生懸命呼びかけています。

日本のどこか、世界のどこかでだれかの幸せに役に立つていいです。

古殿町立古殿小学校 三年 岡部 悠生

矢祭町立関岡小学校 六年 本多 悠夢

わたしは、人にも地きゅうにもやさしい世界にしたいな。わたくしたちのまわりはごみでいっぱい。むだづかいだらけ。

使われなくなつたものをへんしんさせて生まれかわらせてあげたいな。

震災から四年の月日がたつた。福島は復興に向かっている。ぼくができること、それは、福島でとれた農作物をPRすることだ。

工コな世界がわたしのゆめ。

まず、横浜に住むおじいちゃんに伝えたい。福島の野菜が最高においしいことを知つてほしい。

「福島・日本・世界のためにわたしがしたいこと、できること」優秀賞

矢祭町立関岡小学校 六年 吉澤 叶翔

福島市立福島第一中学校 一年 相田かのん

今年で二十五年の歴史をもつ学校田。青々と育った稻が「おいしくなるから待っていてね」と、ぼくに語りかけてくる。収穫の日が楽しみだ。ぼくの大好きな福島産の米。このおいしさを全国の人達にも教えてあげたい。

いわき市立好間第一小学校 六年 奥村 心音

私達は震災によつて

全国・全世界からの支援をいただいた

今日までずっと

そんな人々に感謝の気持ちを届けたい

今度は私達から

支援していただいた皆様へ

この手で感謝の気持ちを

強い気持ちを伝えたいな

私はこの福島で、みんなにたくさんの笑顔を届けたい。今の福島を魅力あふれる笑顔で元気にしたい。自然豊かなこの福島を笑顔いっぱいにしたい。私はこれから福島、日本、世界を笑顔にしていきたい。

福島市立福島第一中学校 二年 氏家 綾菜

震災がおきた年。それは私がトランペットを始めた年。今も毎日トランペットを吹いている。

いつか私の音が、福島の人々の心をいやせるように。これからもがんばっていこう。

福島市立福島第一中学校 三年 八島 悠人

福島市立松陵中学校 三年 朝倉 涼

私は世界のためになにができるのか真剣に考えました。そして

いました。世界のためになるのは一人一人が行う集金、ボランティアなどではないかと。

そして私は決めました。だれかではなく自分が先に行動しようと。

私は、テレビで見た。

津波でふるさとの一部が飲み込まれていく姿を。みんな心に傷をおった。でも、立ち上がった、みんなの支援のおかげで。

みんながしてくれたように、私も、困っている人の背を、支えたい。

福島市立松陵中学校 一年 加藤南々帆

福島市立松陵中学校 三年 熊坂 凰雅

私ができる事は、毎日笑顔で命を大切に生きる事だと思います。

東日本大震災から約四年、ニュースを見るのも嫌になる悲鳴、帰れない人々。ぼくになにができるのか。

支援してくれた方に今を大切に生きているという事を知つてもらいたいです。感謝の気持ちを忘れずに、一日一日を大切に生きていくと思いました。

思ついたのは、笑顔でいよう、家族の笑顔は僕を救つた。だから次は友、町の人々に笑顔の苗を植えていきたい。

いわき市立藤間中学校 一年 根本 貴太

学校法人松韻学園福島高等学校 一年 野崎 真矢

震災翌日から約一ヶ月間にアメリカ陸海空軍、海兵隊によつてトモダチ作戦が行われた。ここまで大きな事は自分にはできない。

しかし、小さな事でもやり続ける事が大切だという事を信じて自分ができることを続けたい。

僕はある地震を止めることができない。だけどあの日起きたことを伝えることはできる。

僕は津波に流された人を救うことはできない。だけど避難を呼びかけることはできる。

そのため僕はある日のことを忘れない。

いわき市立藤間中学校 二年 渡邊 翔

福島県立安積高等学校 一年 紺野 未夢

今福島に足りない物は地域の活性化だ。現在福島県の人口は減少していく限界集落も多くなつてきていて、

だから、地域の活性化に貢献するために、地域の行事や祭、地域特有の職業体験などをしたいと思う。

大きな揺れに驚いてうずくまつていると、手を握ってくれたのは初めて会う人、言葉が違う人だった。

握られた手はあたたかい。そして心強い。元気がでた私はとびきりあたたかい手で誰かを勇気づけてあげよう。

「福島・日本・世界のためにわたしがしたいこと、できること」佳作

福島市立松陵中学校

三年 村越 筝

須賀川市立第一中学校

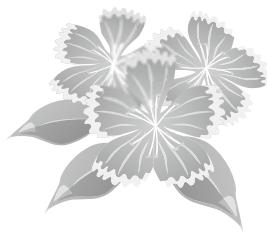
三年 金澤 佳奈
三年 根本 聰太

いわき市立内郷第一中学校

一年 須田 駿祐
三年 只野 千早

学校法人東稜学園福島東稜高等学校

二年 大木 信一



「福島・日本・世界のために わたしがしたいこと、できること」入選

入選

いわき市立草野小学校

二年 加村想乃香

六年 佐藤 真穂

いわき市立好間第一小学校

六年 大場 千奈

六年 渡部 星空

六年 村山 瑞菜

福島市立福島第一中学校

一年 渡辺 涼子
一年 野地 彩夏
一年 大山 純菜

福島市立庭坂小学校
一年 小坂 太陽
一年 松谷 懇生
一年 金澤 怜愛
四年 佐藤トリシャメイ
六年 小林 穂波

須賀川市立大森小学校
三年 石井 里歩
六年 金澤 芽依

矢祭町立関岡小学校
三年 金澤 芽依

矢祭町立石井小学校
六年 金澤 恵太

新地町立福田小学校
五年 目黒 雄大

鏡石町立第一小学校
六年 古川 大翔

六年 宮坂 凌

学校法人桜の聖母学院小学校
五年 橋本 結
六年 小林 穂波

須賀川市立大森小学校
三年 石井 里歩

矢祭町立石井小学校
六年 金澤 恵太

新地町立福田小学校
五年 目黒 雄大

鏡石町立第一小学校
六年 古川 大翔

六年 宮坂 凌

学校法人桜の聖母学院小学校
五年 橋本 結

新地町立福田小学校
五年 目黒 雄大

新地町立新地小学校
三年 寺島 花奏

天栄村立広戸小学校
五年 蕨木 瑞稀

新地町立新地小学校
三年 寺島 花奏

天栄村立広戸小学校
五年 蕨木 瑞稀

新地町立新地小学校
三年 野崎 颯香

三年 野崎 颯香

三年 長根 春菜

三年 長根 春菜

三年 氏家 蒼衣

三年 氏家 蒼衣

郡山市立日和田小学校

一年 田中 雄大

六年 渡邊 真優

天栄村立湯本小学校

三年 田代 愛美

四年 伊賀 勇斗

大熊町立大野小学校

四年 伊賀 勇斗

五年 渡邊 真優

「福島・日本・世界のためにわたしがしたいこと、できること」入選

福島市立松陵中学校

一年 蓬田 拓海

双葉町立双葉中学校
一年 木幡 穂清

一年 天野 快音

一年 五十嵐遙希

一年 安藤 琢人

一年 伊藤 永希

一年 齋藤 光

一年 佐々木彩耶

一年 鷗原 優実

一年 小野 菜月

三年 國嶋 奏汰

三年 鳴原 優美

三年 渡邊さくら

須賀川市立第二中学校

三年 大木 翔太

二年

小針

天栄村立天栄中学校
二年 磯部 莉菜

二年

小針

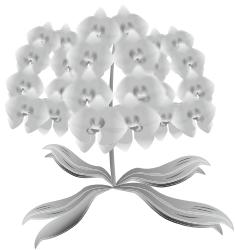
浅川町立浅川中学校

三年 川井 遥夢

二年

小濃

墨





一〇〇文字提案

「わたしが感動したことばやできごと」

「わたしが感動したことばやできごと」

最優秀賞・優秀賞 受賞者

最優秀賞

優秀賞

新地町立新地小学校	二年 水戸 悠人
いわき市立草野小学校	二年 柳田 莉央
天栄村立広戸小学校	六年 小針 暖
福島市立福島第一中学校	一年 大越 桃子
六年 岡部 涼	一年 荒川 恵理
学校法人桜の聖母学院小学校	一年 遠藤うさき
五年 渡辺 舞桜	二年 佐久間 律
福島市立福島第一小学校	二年 斎藤かすみ
六年 山岸しづく	六年 野崎 太輝
郡山市立日和田小学校	四年 円谷 鈴音
五年 和泉 羽奏	四年 影山 暖
郡山市立片平小学校	三年 鈴木 大翔
六年 鏡石町立第一小学校	四年 尾亦 良心
四年 石澤 怜菜	五年 本多 葵
郡山市立片平小学校	六年 今泉 友希
古殿町立古殿小学校	一年 菊地めぐみ
五年 渡邊 虎雅	二年 小松 紗綾
白河市立みさか小学校	西郷村立西郷第一中学校
四年 円谷 鈴音	六年 喜多方市立第一小学校
六年 鏡石町立第一小学校	五年 五十嵐麻佑子
四年 影山 暖	五年 齋藤 春都
五年 渡部 翔	六年 川島 省吾
六年 壱壁 蓮 旭	五年 秋山 五年 喜多方市立第一小学校
六年 坂内 沙綾	六年 喜多方市立第一小学校
西郷村立西郷第一中学校	五年 五十嵐麻佑子
六年 壱野 華蓮	五年 齋藤 春都
五年 秋山 五年 喜多方市立第一小学校	六年 川島 省吾

『わたし感動したことばやできごと』最優秀賞

福島市立福島第一小学校 五年 渡辺 舞桜

福島市立庭坂小学校 六年 山岸しづく

「ピピッ。」「ピピッ。」

「あなたならできる。」

巣から落ちたひなが、必死に親鳥を探してい

これは、お母さんが私にいってくれた言葉だ。

る。

私はとてもうれしかった。

しばらくしたら、どこからか、親鳥が飛ん

私は、やればできるんだ。

できた。やさしくそつとひなを羽でつつみこ

つらなくてくじけそうな時、悲しくてなみだ

んだ。

が止まらない時、

「あなたならできる。」

よかつたー。

心がほつとあたたまつた。

を支えに前に進みたい。

郡山市立片平小学校 六年 和泉 羽奏

鏡石町立第一小学校 五年 渡邊 虎雅

ある時、母がつかれて帰つてきました。帰つてくると自分に塩をかけてと言いました。

「今日、おばあちゃんがなくなつたんだ。そのおばあちゃん笑顔をくれる人でね。」と、言い、私は心で思いました。

私も看護婦になりたい。

「がんばれば自分にかえつてくる。」
ぼくが感動した言葉です。

今まであまり長続きしたことはないけど、陸上だけは続けてきました。

そして、勝ち取った県大会。

ああ、やっぱりがんばれば、自分にかえつてくるんだな。

福島市立福島第一中学校 一年 阿部 天太朗

西郷村立西郷第一中学校 一年 菅野 華蓮

東日本大震災の日を僕ははつきりと覚えて
います。あの時の波はたくさんものを奪つ
て行つた。家、物、思い出、お金、たくさん
の命…。

「お前は強い。」
母からもらつた一言が私に勇気をくれまし
た。

しかし、人々の「生きる希望。」「助け合う
心。」は波でも奪うことは出来なかつた。
何もかもうまくいかない、そんなとき、い
つも、心強いみかたでしてくれる、自分の背
中をおしてくれる、時にきびしく、そしてや
さしい母が大好きです。

『わたしのが感動したことばやできごと』優秀賞

学校法人桜の聖母学院小学校 五年 鈴木 佑梨

ありがとう
と言われると
心がなんだか温かい
そういうと
心がなんだか温かい
言つている側と
言われる側の
気持ちはいっしょ
一言で気持ちが変わる
すごい

かんしょう教室で、走れメロスをみました。メロスは、友達をうらぎらないでたくさん走った所が、感動しました。わたしもメロスみたいに、お友達をうらぎらないで、いい人でいたいと思いました。

郡山市立日和田小学校 四年 石澤 恋菜

郡山市立片平小学校 三年 鈴木 大翔

「ごめんなさい。」
なんとなく気まずくて、ぼくは、なかなか言えない。でも、友だちがあつさりと
「ごめんなさい。」と言つた。
そしたらすぐになかなおり。
「ごめんなさい。」
つてすごいなあ。

わたしのホウセンカだけ、くきがぐにやりとまがつていまし
た。毎日水をやつていたら、あんなにまがつてたくきが立ち
あがりました。びっくりしました。

わたしもホウセンカにまけないように生きたいです。

郡山市立日和田小学校 三年 佐藤美乃里

「わたしが感動したことばやできごと」優秀賞

郡山市立富田東小学校 四年 影山 暖

鏡石町立第一小学校 二年 秋山 旭

わたしのお父さんは、毎年たん生日が来るとおばあちゃんに、生んでくれてありがとうございます。

ふつうならおめでとうと言つてもらうほうなのに、感しやの言葉を毎年言つているお父さんに、わたしは感動しました。

ははの日に、おふろそじとかたたきをやりました。おかあさんのかたはかたくて、もみづらかったです。

「あきらの手は、まほうの手だね。」

と、言つてくれました。

ぼくも、いい気持ちになりました。

郡山市立富田東小学校 六年 渡部 翔

鏡石町立第一小学校 五年 真壁 蓮

ぼくは、杉原千畝という人の

「苦りよ、煩悶のあげく、私は、ついに人道博愛精神第一といふ結論を得た。」という言葉に感動しました。

千畝は、政府に逆らってでも六千人の難民を救いました。この勇気は見習いたいです。

言葉はナイフにも花束にもなる。一秒の言葉一言で、人の心を良い気持ちにも、いやな気持ちにも出来る。

ぼくは、親にほめられて心がぱかぱかになつた事がある。だから友達にも良い事をしていたら、ほめてあげたい。

鏡石町立第一小学校 六年 坂内 沙綾

悲しい時、つらい時、心が折れそうな時、どんな時でも話を聞いてくれるお母さんの一言、

「大丈夫、大丈夫。」

と言われると、なぜかほっとしてしまう私。いつもありがとう。

天栄村立大里小学校 六年 岡部 涼

ぼくは、三年生のころから太鼓をやっています。太鼓の先生はいつも、「一位にこだわれ、三位でいいとか言つてるとオレ来ないから。」と、言っています。そのおかげで今は、二位、三位ではなく一位を目指すようになりました。

天栄村立広戸小学校 六年 小針 暖

わたしの好きな言葉は、「がんばって。」

どんなに苦しい時、悲しい時も「がんばって。」の一言で、未 来がぱッと明るくなる。

ぼくがある日、手にした本にあった言葉。
「自分の未熟さを生まれつきの才能のせいにするなんて両親に失礼だ。」

この言葉に感動した。

だから、今、暗い道を歩いている人に、「がんばって。」のランプでその人の未来を照らせるといいな。

自分はどうかな? そういう弱い心を持たないで、前向きでい

ようと決めた。

古殿町立古殿小学校 六年 野崎 太輝

「わたしが感動したことばやできごと」優秀賞

白河市立みさか小学校 四年 円谷 鈴音

矢祭町立関岡小学校 六年 本多 葵

庭先で巣を作った四十雀。せっせと苔を運ぶ。小さな命をつなぐために。鳥も虫も花もトカゲも何者なのかなど関係なくやるべきことを知っている。

生きることを教えてくれるでつかい先生。そんな姿が僕は好きだ。

「絆」。東日本大震災後、よく耳にする言葉です。この言葉は、私達の学校生活にとても関係あると思います。

本校は今年で閉校となります。皆が笑顔で助け合う学校を創りたいです。全校生二十三人の絆を大切にします。

矢祭町立下関河内小学校 五年 尾亦 良心

喜多方市立第一小学校 五年 五十嵐麻佑子

「がんばったね」

その言葉で私の心は温まる
それはねぎらいの言葉
それははげましの言葉
それはなぐさめの言葉
時には感動して涙が出る

「ありがとう」
うれしい言葉だ
その言葉を言われると
だれだつてうれしくなる
うれしくなった人を見ると
自分もうれしくなる

「ありがとう」
いい言葉だなあ

今は言われる方だけど
いつか言える大人になりたい

喜多方市立第一小学校 五年 齋藤 春都

新地町立新地小学校 二年 水戸 悠人

「がんばれよ」
おじいちゃんが最後に残してくれて言葉だ。今はもういなけれど、ぼくは、時々その言葉を思い出す。

「がんばれよ」には、色々な意味を感じる。おじいちゃんの言葉はいつまでもあたたかい。

ぼくが二年生になつてかんどうしたことは、のぼりぼうのでつべんに行けたことです。

学校が小さく見えました。まわりの木がおなじたかさになりました。

おりるとき風がふいてきて、とてもいい気持ちがしました。

喜多方市立第一小学校 六年 川島 省吾

新地町立新地小学校 二年 西谷 優志

ぼくは、野球をやっていて、バッティングにならんでいる時、テレビで努力すれば結果がついてくるという言葉に感動しました。

二年生になつて、一ぱん心にのこつたできことは、てつぼうでこゝもりができたことです。

こゝもりをしたら、青い空が下に見えました。そして、友だ

次の日からすぶりをしたら、試合でヒットが打てました。「努力をすればできる」を忘れない。

「わたしが感動したことばやできごと」優秀賞

新地町立新地小学校 四年 黒膳 葉

いわき市立草野小学校 二年 柳田 莉央

私は、震災後にお母さんが仕事の日は、一緒に病院へ行きました。

具合の悪い人やけがをした人を先生やかんざしさんが、一生けん命看病をしていて感動しました。

私も人の役に立てるような人間になりたいです。

新地町立新地小学校 四年 荒 恋弥

福島市立福島第一中学校 一年 大越 桃子

わたしは、震災で母を失いました。

友にはげまされ、感動した言葉があります。

「一期一会」と「信友、心友」です。

両方共むねがぎゅつとひきしりました。その後、ぱあつと心があたたかくなりました。

「ありがとう。」

言つたら笑顔が増えた。

「ごめんね。」

言つたら仲良しが増えた。

言葉にも意味がある。簡単に「死ね」なんて言っちゃいけない。考えて言わない。

「いのちをいただく」という牛が肉になる話を読み、いのちのたいせつをしりました。これからは、肉、魚、やさいすべてのいのちにかんしゃして、つくっている人にもかんしゃして、まい日のこざいたべたいです。

福島市立福島第一中学校 一年 荒川 恵理

福島市立福島第一中学校 二年 佐久間 律

「がんばれ」

私は、この言葉が好き。

この言葉は、私に力をくれる。元気をくれる。そして、勇気もくれる。

私も、この言葉を使って、みんなに、力、元気、勇気を届けたい。

勉強で失敗した時、部活に疲れた時、いき詰まってしまった時、家族がそばにいてくれた。

いつも同じだけれど、心に響く「大丈夫。」の言葉。

何度も何度も励ました。次は僕が。

福島市立福島第一中学校 一年 遠藤うさき

「おはよう。」

と、あなたは私に言いました。

ただそれだけの言葉だけど、私の心はぱつかぱか。

「おはよう。」

と、私はあなたに言いました。

ただそれだけの言葉だけど、あなたの心もぱつかぱか。

一生懸命やつてると自信が持てる。
一生懸命やつてると協力してくれる人ができる。
一生懸命やつたから泣きたくなる。
一生懸命やつたからおもしり喜べる。
私は一生懸命が似合う人になつていきたい。

福島市立福島第一中学校 二年 斎藤かすみ

「わたしが感動したことばやできごと」優秀賞

福島市立松陵中学校 三年 今泉 友希

学校法人福島成蹊学園福島成蹊高等学校 二年 小松 紗綾

ヨーロッパから来た音楽家たちは、笑顔で私たちに寄りそつた。共に演奏をして、言葉にならない感動を全員でわかつた。

「私とあなたは先生と生徒ではなく、同じ音楽家です。」
この言葉を聞いて、私は涙があふれた。

初めての東北水泳大会。リレーの決勝でタッチの差で負けてしまった。泣き崩れる私に先輩が一言。

「泳ぎ切ったのだから胸を張れ」と。

そう言つた彼女は笑顔で胸を張り泣いていた。
憧れの先輩と泳げて本当に私は幸せだった。

西郷村立西郷第一中学校 一年 菊地めぐみ

「泣くより笑つた方が楽しいよ」祖母が昔泣き虫だった私に言つた言葉です。

私はこの日からなるべくたくさん笑うようにしたら人生がとても楽しくなつたから、これからもたくさん笑つて笑顔に満ちた未来をつくりたい。

「わたしが感動したことばやできごと」佳作

「わたしが感動したことばやできごと」佳作

福島市立福島第一小学校

四年
佐藤
大悟

郡山市立片平小学校

鏡石町立第一小学校

福島市立庭坂小学校

一年
渡部
真子

郡山市立桃見台小学校
二年 木幡 拓斗
四年 鈴木さくら

四年 村越妃奈乃

四年
二階堂剛士

郡山市立富田東小学校
三年 影山

六年 生田目結衣

伊達市立堰本小学校

三年
丹野
光

三年
渡邊
將

四年近藤風人

六年
熊坂
天

会津若松市立河東学園小学校

郡山市立田和田小学校

六年
新美
萌香

喜多方市立第一小学校

四年 中村ひみり

新地町立新地小学校	三年 佐藤蒼一郎
いわき市立夏井小学校	六年 荒 一志
いわき市立渡辺小学校	二年 日黒 心那
いわき市立草野小学校	三年 渡辺 彩生
福島市立福島第一中学校	二年 橋本 瑞遙
福島市立松陵中学校	二年 根本 彩奈
須賀川市立第二中学校	二年 吾妻 凌
天栄村立天栄中学校	三年 長沼 莉子
福島市立佐藤小学校	海月
福島市立佐藤小学校	佐藤蒼一郎

「わたしが感動したことばやできごと」佳作

西郷村立西郷第一中学校

一年 大川原 心
一年 齋藤 遼花
一年 長谷川健太
一年 中山ちはる
一年 穂積 遥

学校法人福島成蹊学園福島成蹊高等学校

一年 荒 悠己
一年 今村 菜々
二年 添田 愛梨

福島県立あさか開成高等学校



「わたしが感動したことばやできごと」入選

福島市立福島第一小学校

二年 佐藤 環

福島市立庭坂小学校

三年 佐藤 あづ

五年 亀岡 菜花

六年 佐藤 翼

六年 羽田 莉乃

学校法人桜の聖母学院小学校

六年 木村 汐里

伊達市立堰本小学校

六年 氏家 里菜

須賀川市立稻田小学校

五年 氏家 里菜

郡山市立日和田小学校

三年 佐藤 凜空

四年 阿部 峻希

郡山市立桃見台小学校

二年 館田 靖利

四年 榎本 祐介

六年 角田 遼

郡山市立富田東小学校

四年 相良 優和

六年 安齋 虹夏

須賀川市立稻田小学校

六年 柏村 歩美

五年 角 昇真

白河市立信夫第二小学校

二年 岩谷 香澄

矢祭町立関岡小学校

四年 本多 由羅

会津若松市立河東学園小学校

六年 中野 拓斗

須賀川市立阿武隈小学校

六年 ミニアーヴィック杏菜

喜多方市立第一小学校

五年 長澤 寿弥

鏡石町立第一小学校

二年 遠藤 柚芽

二年 岩井 里奈

五年 菊池 葵

鏡石町立第二小学校

五年 皆川明日海

二年 田代 博美

天栄村立湯本小学校

二年 古殿立古殿小学校

三年 江田 愛佳

「わたしが感動したことばやできごと」入選

新地町立福田小学校

一年 菅原 凪澪
五年 齊藤 陽菜

新地町立新地小学校

二年 柴田 謙翔
二年 大堀 友愛
二年 寺島 梨花

福島市立福島第一中学校

二年 佐川 唯
六年 須藤 宝

いわき市立内郷第二中学校

三年 藤田 夏実
三年 菅野 流生

双葉町立双葉中学校

一年 齋藤 優汰
一年 佐藤 葵

いわき市立内町小学校

二年 大和田光星
三年 渡辺 琉月
六年 和賀 凜帆

西郷村立西郷第一中学校

一年 齋藤 優汰
一年 佐藤 葵

相馬市立磯部小学校
五年 狩野 颯太
四年 廣嶋 周吾

大熊町立熊町小学校

一年 渡邊 茉代
一年 古田土 蘭
二年 森谷 実子

いわき市立夏井小学校
一年 渡邊杜 喜音
三年 渡邊 聰那

三年 安藤 優希
三年 菅野 穂香

いわき市立草野小学校

六年 坂本 光誠
六年 小林 士道

福島市立松陵中学校
一年 渡邊

福島県立遠野高等学校
二年 八重樫 萌
三年 江尻 秀哉

須賀川市立第二中学校

三年 小林 萌花
三年 矢吹 なゆ

琴心

学校法人福島成蹊学園福島成蹊高等学校

学校法人昌平饗東日本国際大学附属昌平高等学校

一年 矢吹 結
一年 丸添 咲那

浅川町立浅川中学校

二年 江田 有沙
二年 矢吹 有沙

学校賞

福島市立庭坂小学校
郡山市立日和田小学校
郡山市立富田東小学校
いわき市立草野小学校
福島市立福島第一中学校
福島市立松陵中学校

学校奨励賞

須賀川市立小塩江小学校
須賀川市立大森小学校
白河市立表郷小学校

作品応募校

作品応募校

天栄村立広戸小学校	大熊町立熊町小学校	福島県立福島高等学校
天栄村立大里小学校	大熊町立大野小学校	福島県立本宮高等学校
天栄村立湯本小学校	栖葉町立栖葉南小学校	学校法人福島成蹊学園福島成蹊高等学校
福島市立福島第一小学校	古殿町立古殿小学校	学校法人東稜学園福島東稜高等学校
福島市立庭坂小学校	白河市立小田川小学校	学校法人松韻学園福島高等学校
学校法人桜の聖母学院小学校	白河市立みさか小学校	福島県立安積高等学校
伊達市立堰本小学校	白河市立表郷小学校	福島県立郡山商業高等学校
二本松市立原瀬小学校	白河市立信夫第二小学校	福島県立あさか開成高等学校
郡山市立日和田小学校	矢祭町立下関河内小学校	福島県立光南高等学校
郡山市立片平小学校	矢祭町立関岡小学校	福島県立白河実業高等学校
郡山市立桃見台小学校	須賀川市立第二中学校	福島県立遠野高等学校
郡山市立富田東小学校	天栄村立天栄中学校	学校法人山崎学園福島県磐城第一高等学校
郡山市立白岩小学校	喜多方市立第一小学校	学校法人昌平高等学校
郡山市立桜小学校	白河市立浅川中学校	学校法人昌平日本国際大学附属昌平高等学校
須賀川市立稻田小学校	白河市立大信中学校	西郷村立西郷第一中学校
須賀川市立小塩江小学校	新地町立新地小学校	新地町立尚英中学校
須賀川市立阿武隈小学校	相馬市立飯豊小学校	双葉町立双葉中学校
須賀川市立大森小学校	相馬市立磯部小学校	いわき市立藤間中学校
鏡石町立第一小学校	双葉町立双葉北小学校	いわき市立内郷第二中学校

作品審査を終えて

青少年赤十字作品募集は「青少年赤十字活動の活性化と意識を高めること」を目的に始まり今年で第十回目を迎えました。

が「いのちは一つしかない」と気付いたり感じたりした、そのことを知りたいのです。なるほどと共感できる「いのち」の姿がほしいのです。審査にあたった先生方は一つ一つの作品を丁寧に読む中から、共感し心をとらえた作品、生き生きと躍動する作品を選ばせていただきました。

されど、審査員の評価の高かつた作品七点について感想を述べることとします。

日本赤十字社社長賞

双葉北小学校五年

双葉北小学校五年 渡部未空さんの作品
「いのちの詩・愛の詩」は、東日本大震

作品の募集テーマは、青少年赤十字が目標として掲げている健康・安全、奉仕、国際理解・親善という三つの柱から設定されてきました。青少年赤十字に加盟し活動している皆さんに、日々の生活を通して気づいたこと、考えたこと、行つたことなど、振り返ってほしい自らを確かめてほしいという、願いが込められています。

今年も、子どもたちの「やさしさ、あたたかさ、思いやり」の心を大切にした数多くの作品に触れることができうれしい限りです。

それにしましても、作品テーマを一〇〇文字でまとめることが決して易しいことではありません。「いのち」とか「愛」とか「生きること」、「ボランティア」などなど関心はあっても考えをまとめて文章に表現するなどという経験はあまりないかも知れません。だからと言って、「テーマについて」辞書や百科事典で調べて文章にしてみても借り物の知識でしかありません。

皆さんから寄せられた「いのちの詩・愛の詩」の中で多かつたのが「いのちは一つしかなく」「取り替えることができない」というフレーズで、いのちはひとつしかないから大切で守らなくてはならないという提案になっています。その通りなのです。が読み手の心になぜか響いてこないので。読み手は、あなた

日本赤十字社福島県支部長賞

福島第一中学校一年 岩原みさきさんの作品

「いのちの詩・愛の詩」は、友へのやさしさや目配り思いやりのある人柄が読み取れます。いつも友達の輪の中で過ごせたら幸せでしょうが、中には孤独を感じ、気後れしてさびしい思いをしている友達もいるのです。全体を見て友達のこととを気にかけてくれる、それこそリーダーシップだと思います。

富田東小学校三年 石川一平さんの作品

「わたしのできるボランティア」は、僕が今できるボランティアだという力強い詩になっています。青少年赤十字が大切にしている「自ら気づき、考え、実行する」姿であります。毎日一個集めることが何に結びついているのかの想像力があなたのボランティアの力になつているように思われます。

鏡石町立第一小学校二年 大野伸貴さんの作品

「福島・日本・世界のためにわたしがしたいこと、できることが読んでいて、誰もが共感する郷土の町や村のなつかしい風景です。螢が飛び交う光景はおじいちゃんの子供の頃は確かにあつたのです。螢の住める環境を取り戻すのも人間への宿題などと言うことを教えられました。

桜の聖母学院小学校五年 川村瑛音さんの作品

「わたしのが感動したことばやできること」は、私のことは私が一番知つていて、決してあわてることはないのだという自信さえ感じられます。とくに周りが気になつて落ち込むことが多いのですが、そんなことより「『私は私』と強くいってみようよ」というはげましの提案になっています。

青少年赤十字福島県指導者協議会長賞

「わたしのできるボランティア」は、老人ホームで八十歳のおじいちゃんと七歳の僕が将棋を指すという場面をユーモラスに描いています。実際に楽しそうに指している姿が見えるようです。ともに楽しめるボランティア 最高だね。

福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞

伊達市立堰本小学校一年 小賀坂有珠さんの作品

「いのちの詩・愛の詩」は、ほほえましく、何回も読みました。おじいちゃん大好きなんだね。おじいちゃんのやつていることをよく見ていてお手伝いしている姿も想像できます。「みんなのえがお」も作っているおじいちゃん 素晴らしい詩です。

つぎに、これから的作品作りについてお願ひいたします。
一 「いのちの詩・愛の詩」では、詩ということで作品募集を

しています。できれば「詩」の形式にそつた表現をしていくとリズムが生まれ、言いたい言葉が生まれ訴えやすくなるかと思われます。格調高い表現をめざしてほしい。

二 一〇〇文字という限られた文字数の中で書きたい核心に触れるためには、書き出しに注意してみてください。「わたしのできるボランティア」というテーマで作品を書く場合「わたしのできるボランティアは」、「という書き出しはしないほうがいい」と思います。

三 中学、高校の皆さんからの作品が少ないように思われます。力強く若さあふれる作品を数多くご応募ください、お待ちしています。

以上、審査会を終え多くの作品の中から入選作品を作品集として編集発行することができました。是非とも一つ一つの作品に目を通していただくとともに、子どもたちの学習指導に役立てていただければ幸いです。

おわりに、作品を寄せていただいた学校、指導にかかわったくださった先生方、そしてたくさんの方々の作品を寄せてくれた児童生徒の皆さんに對し、審査員一同心から感謝をお礼申し上げます。今後とも青少年赤十字活動を身近に感じ実践することを通してさらに良い作品が生まれることを祈っています。

平成二十七年十一月 二次審査会にて

審査委員長 藤田伸朔

審査にご協力いただいた皆様 (敬称略)

☆ 審査委員長 (福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長)

福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長
○川田 昌利 (赤十字指導講師 青少年赤十字福島県指導者協議会)

☆ 審査委員

(赤十字指導講師 青少年赤十字福島県指導者協議会)

○藤田 伸朔 (福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長)

○藤田 伸朔

